

令和 6 年度 地域包括支援センター活動計画 重点目標

東部

(認知症重点目標)

重点的に取り組む課題と目標	目標を達成するための活動計画
テーマ：認知症になっても安心して暮らせるための支援 【課題・背景】 ①高齢者の単身世帯や高齢者のみの世帯が増加し、軽度認知機能低下者の早期発見が難しくなっている。家族以外の近隣住民からの相談も多くなってきており、多世代に向けての認知症を理解するための普及啓発が必要になっている。 ②認知症高齢者の「その人らしさ」を尊重するためには、状況やニーズに合わせて、介護保険でのサービスだけではなくインフォーマルサービスが必要になっている。 【目標】 ①認知症についての普及啓発を行うことで認知機能低下者の早期発見や相互理解を深める。 ②認知症高齢者や家族の「してみたいこと」や「してほしいこと」をサポート出来るようオレンジパートナーへの働きかけや運用の仕組み作りを検討する。	①・近トレや介護予防教室が、認知症になっても「慣れ親しんだ居場所」になるよう認知症月間に合わせて訪問し、認知症に関する講座や認知症サポーター養成講座を行う。また認知機能低下の気づきや支えあいの重要性について普及啓発を行う。 ・多世代へ向けて認知症理解の普及啓発として、小・中・高校の生徒や自治会等への認知症サポーター養成講座を行う。 ②・認知症の本人、家族がどのようなインフォーマルサービスを利用したいのか介護支援専門員と連携し、ニーズを聞き取る。 ・エリア内のオレンジパートナーとの交流会を開催し、可能なサポート、困難に感じるサポートを聞き取り運用方法を検討する。 ・認知症の本人、家族、オレンジパートナーとの認知症カフェを開催する。

月	取組	内容
4	地域課題会議のテーマの検討 (地区連絡会とコラボ予定)	民生委員へのアンケート(テーマ等) ・4月末 締め切り ・分析、テーマ検討 ボクセジュール近トレ支援
5	既存の居場所にアプローチ (認知症の理解者を増やす) ・気づきや支え合いの重要性 ・認知症予防普及啓発提案	CM事業所へオレンジサポーター支援に関するアンケート実施
6	東部地区オレンジパートナー 交流会	
7		〇〇中学校 認サポ講座
8 ※中間報告	地域課題会議(介護保険講座)	Part1(アンケート結果分析→テーマ決定)
9 認知症を知る月間	住民主体(人&居場所)の構築 認知機能が低下した方を離脱させないための支援 ・気づきや支え合いの重要性 ・認知症予防プログラムの提案 認サポの開催 認知症への理解者を増やす (令和4年度よりニーズのあった地域にアプローチ)	近トレ「聖ヶ丘灯火サロン」() 近トレ「金聖会」() 近トレ「連光寺東部健幸わわわ」() 近トレ「京王一の宮サロン」() 近トレ「連光寺志学火サロン」() 元気アップ会「すわ元気アップ会」() 元気アップ会「ニコニコ元気あっぷ」() 元気アップ会「連光寺しあわせ」() 近トレ「丘の上」() 近トレ「はなみずきクラブ」() 近トレ「なごやか健幸体操の会」() 地域体操活動「イキイキ健賢会」() 諏訪南学童クラブ キッズ認サポ講座 〇〇学童クラブ キッズ認サポ講座
10	上旬 認知症カフェ(単発)	
11	下旬 中部包括コラボ企画	
12 ※評価		
1		
2	地域課題会議(地区連とコラボ)	
3		